

Science Cafe in Shizuoka 2023

サイエンスカフェ in 静岡

第36シーズン

サイエンスの
最前線を
分かりやすく
お話します。

※イラストはイメージです



場所 / B-nest静岡市産学交流センター

(ペガサート6階プレゼンテーションルーム)
静岡市葵区御幸町3-21 <http://www.b-nest.jp>

Zoomによるオンライン同時配信 も合わせて
行います。
(新型コロナウイルス感染状況に応じてオンライン配信のみとする可能性もあることをご了承ください。)

時間 / 18:00~19:30 (開場17:30)

人数 / B-nest:100名・オンライン:200名

申込方法 / オンラインのみ事前申込制

(募集人数に達しましたら申込を締め切ります)

サイエンスカフェin静岡公式サイト内の予約フォームから必要事項をご記入のうえお申込ください。会場参加の方は、当日、参加者名簿にご記入願います。

■ 申込開始日 ▶ 各回1ヶ月前 ■ 申込締切日 ▶ 各回の2日前

オンラインのみ
要事前申込
参加無料

第162話

3月
30木



光合成をわかった気になる話

理学部 生物科学科 粟井 光一郎

光合成は、光エネルギーを使い、二酸化炭素を吸収して酸素を放出し、糖をつくると学校で習います。もちろん正しいのですが、それだけでしょいか。光合成について、少し詳しく仕組みを解説し、そのなかでも光合成反応の場であるチラコイド膜についての話をします。

第163話

4月
27木



共振器分子科学へのいざない~分子を鏡で挟んでみたら~

理学部 化学科 松本 剛昭

2枚の鏡で挟まれた空間を共振器といいます。共振器の中に分子を置くと、「光-物質混成状態」が生成されます。これは、原子と光が等価な関係性で分子を形作ることに相当します。混成状態にある分子は、普通の分子とは大きく異なる化学反応性を示すことがあります。そんな鏡に挟まれた分子の不思議を、最新の研究例を交えて紹介します。

第164話

6月
1木



(円周の長さ) < (直径) × (円周率) !?

~重力と曲がった空間の不思議な関係~

理学部 物理学科 森田 健

アインシュタインの提唱した「一般相対性理論」では重力の起源は「曲がった空間」にあると考えられています。「曲がった空間とは何か」や「なぜ空間が曲がるかと物が引きつけられるのか」を紹介します。



第165話

7月
6木



岩石・鉱物から火山を探る

理学部 地球科学科 石橋 秀巳

火山噴火によって地表にもたらされる岩石・鉱物は、火山の活動史や地下のマグマだまりに関する情報を記録しています。岩石・鉱物に刻まれた記録を解読し、火山地下でおこるマグマの形成や噴火準備過程を探る研究について紹介します。



第166話

7月
27木



連続体仮説と選択公理

理学部 数学科 依岡 輝幸

実数全部の集合の大きさに関してカントールが予想した連続体仮説と、数学における演繹のひとつとしてツェルメロが提唱した選択公理は、ゲーデルとコーエンにより、集合論の公理系から証明も反証もされないことが判明しました。歴史をいかつままで、この一連のストーリーを紹介します。



主催 / 静岡大学理学部 【お問い合わせ】 理学部総務係 TEL:054-238-3080 [平日9:30~15:30]

e-mail: scafeweb@suml.cii.shizuoka.ac.jp HP: <https://www.sci.shizuoka.ac.jp/science-cafe> Twitter: @SciCafeShizu34

サイエンスカフェin静岡 検索

